

門松（草野七福老人会元気会）
 団子さし（飯樋4区ミニデイ）
 雑巾（草野七福老人クラブ女性部）



▲草野七副老人会元気会の皆さんと村長

草野七福老人会元気会（梶澤元一代表）と飯樋4区ミニデイサービスの皆さんは、10年以上にわたり役場などの村内公共施設に、手作りの門松や団子さしを寄贈しています。今年の新年も、立派な門松と華やかな団子さしが、役場に訪れる方々を迎えています。また、草野七福老人クラブ女性部では、会員が古着やタオルなどで作った計200枚の雑巾を、草野幼稚園と草野小学校、さらに飯館中学校へ毎年贈っています。

12月・1月

いつも善意をありがとう



▲飯樋地区ミニデイの皆さん



▲代表生徒へ雑巾を贈る老人クラブ代表

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



新春に誓う！無災害の村

1/6 消防出初式



▲出初式に先立ち団員らの服装を観閲する村長ら

「平成20年飯館村消防出初式」が村公民館で行われ、消防団員や女性消防隊員など約210人が参加し、今年の無火災を誓いました。出初式では、荒団長と菅野村長がいさつしたの続き、感謝状贈呈と表彰伝達が行われました。このうち感謝状贈呈では、昨年8月に草野地内で発生した建物火災の初期消火功労者として、草野向



▲村長から感謝状の贈呈を受ける高橋佳樹君

押の高橋秀一さん・アヤ子さん・佳樹君、高橋成子さん、庄司ヨネ子さんに菅野村長から感謝状が贈られました。また、永年勤続や退職団員らに消防長官及び県消防協会長などからの表彰状が、それぞれ荒団長から伝達されました。飯館分署によると、昨年村内で発生した火災は7件で、損害額は約1800万円。これは前年比で2件、約1400万円多い数字です。（詳しくは14ページの消防統計をご覧ください）

昨年12月10日から今年1月7日までの29日間、県下一斉に「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が実施されました。特に年末年始は忘年会、帰省者の増加などで飲酒の機会が多くなることから、今回は「乗るのなら、みんなで止めよう その一杯」をスローガンとし、県内各地でさまざまな活動が行われました。本村では、村生活安全協議会交通安全部会（只



▲飲食店を訪問する駐在所の横田専門官

12/21 飲酒運転根絶への協力を呼びかけ



▲飯館局を訪問する隊員ら

野俊部会長）と飯館駐在所が共同で村内飲食店15店舗を訪問。営業主らに飲酒運転根絶チラシやハンドルキーパーチラシを配布し、飲酒運転根絶への協力を求めました。12/27 年末の防犯パトロール 村防犯指導隊（菅野敬隊長）では、事件・事故が多発する年末年始に向けて、防犯パトロールを実施しました。この日は5人の隊員が参加し、村内の金融機関やコンビニエンスストアなどを訪問して注意を呼びかけました。

楽しかったよ、地域の学校



▲自分たちが作った炭俵を菅野教育長へ贈る子どもたち

参加した子どもたちが教育長へ活動報告 小宮行政区（渡辺守男区長）が今年度取り組んできた「まじいスクール」。これは、週休日などに子どもたちを地域で預かり、さまざまな体験活動を通して子どもたちの健全育成につなげようと、昨年度から始まった事業です。同行行政区では、

報告の中で子どもたちは「大人の人たちと一緒に色々な経験ができて楽しかった」「これからももっと多くの人と活動したい」などと話していました。同行行政区では、20年度も引き続き「まじいスクール」を行う予定です。

12/26 小宮行政区「まじいスクール」

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ 親の氏名 行政区

届け出はありませんでした

結婚おめでとう

氏名	行政区
西内 忍	大久保・外内
松井 里美	大久保・外内
森 貴徳	白 石
高橋 美波	伊達郡川俣町

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
齋藤 幸ノ	94	宮内
村上 廣見	82	上飯樋
三浦 ミツ	92	白 石
佐藤 テル子	85	伊丹沢(関沢)
細杉 イト	90	前 田
佐藤 次男	66	大久保・外内
青木 馨	84	大久保・外内

ご冥福をお祈り申し上げます

(12月21日から平成20年1月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成20年1月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3182人 (-12人)	3263人
女	3212人 (-26人)	3298人
計	6394人 (-38人)	6561人
世帯数	1703戸 (-16戸)	1745戸

◆◆ 12月1日～31日までの人口動態 ◆◆

転入	4人	転出	33人
出生	2人	死亡	11人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

ついに500日…次は1,000日

12/27 村の交通死亡事故ゼロの日



▲500日を表示した看板の前に立つ、左から駐在所の横田専門官、交通安全部会の只野部会長、駐在所の川島部長

平成18年8月13日に、二枚橋地内でワゴン車が道路下の畑に転落し同乗者が死亡する事故が発生して以来、村内での交通死亡事故ゼロ

の日は続いています。12月27日の午前0時をもって、目標の500日を達成しました。生活安全協議会交通安全部会(只野部会長)では、次の目標を1000日(21年5月9日)に設定し、引き続き関係団体と連携しながら事故防止活動に取り組んでいきます。皆さんも、事故にあわない、起こさないよう心がけてください。また、寒い日が続き路面が凍結して滑りやすくなっていますので、慎重な運転・歩行をお願いします。

12/28 村の農業将来像をハッキリと

農業委員会が建議

村農業委員会の北原経会長と菅野宗夫会長職務代理者が、菅野村長に平成20年度の農林業予算編成に関する建議書を提出しました。農業委員会では、地域農業者からの声を踏まえ、農業振興と農村活性化のための関連予算確保などについて、毎年村に建議しています。今回は、農業後継者への厚い支援や耕作放棄地対策の促進、有害鳥獣被害防止対策、農



▲菅野村長に建議書を手渡す北原会長(写真右)と菅野会長職務代理者(写真中央)

業委員会の必置規制の堅持に関する事項など、6分野にわたる予算確保及び対策について建議しました。

いいたていきいきクラブ(庄司和明会長)主催の「スキー・スノーボード教室」が猪苗代町の箕輪スキー場で行われ、小学生から大人まで25人の村民が参加しました。この教室は、村民の冬期間の体力づくりを図ろうと、同クラブが「いいたてスキークラブ(林良蔵会長)」の協力を得て毎年開催しています。教室では、参加者が滑走レベルに応じて4グループに分かれ、スキークラブのSAJ公認指導員らの指導を受けながら、



▲スキーを楽しむ参加者ら

2回目の教室は、2月17日に同スキー場で開催されます。参加者らは寒さを忘れ、広いゲレンデでウィンタースポーツを満喫しました。

白銀のゲレンデで 伸び伸びと

いきいきクラブ 「スキー・スノーボード教室」

それぞれ滑り方を練習しました。



▲参加者全員で記念撮影

ぽけっとの 10大ニュース

村の10大ニュースも成人式

年末になると、どの新聞にも「今年の10大ニュース」ということで、県内版はもとより、国内、国外、スポーツにと、1年間の出来事を振り返る記事が載ります。飯館村には全国でも珍しい「わが村の10大ニュース」というものを毎年村民の方に選んでもらい、「新春村民のつどい」で発表するという素晴らしい事業があります。この10大ニュース、昭和63年分を平成元年の「村民のつどい」に発表して以来、毎年続けてきており、今回の発表でちょうど20回目に当たります。「10大ニュース」ですから、10位までの発表が中心となりますが、当然約50項目の出来事の全ての順位がついて記録として残されていますから、「確かな村の歴史書」となっている訳です。私たちは、1年前のことなど、なかなか思い出せません。いや、昨日のことすら忘れてしまうことさえあります。ですから、この「10大ニュース」をひも解くということは、私たちの先輩や私たちが歩ん

できた、その年々の苦勞や努力、喜びや成果をおさらいしてみることと同じだと言ってよいでしょう。村にとって喜ばしいトップニュースとしては、駅伝大会の優勝をはじめ、飯館中学校開校や新庁舎、ほんの森、いいたてホーム、「もりの駅まごころ」のオープンなどがトップを飾り、さらには時々の催しや事業などが上位になっているようです。また、大変だったニュースとしては、冷害、台風、長雨などによる農作物への被害や、大雨大雪など、村の悪天候との闘いの歴史が、この「10大ニュース」によって、はっきりと見てとれます。これらの「10大ニュース」が、これから10年も20年も「村の10大ニュース」として続いていく欲しいものです。さらに、もう一度この「10大ニュース」を整理してみ、老人クラブの集まりや子供育成会の会合の資料として、あるいは学校の総合学習の教材として使ってみるのも面白いのではないかと、成人式を迎えた「10大ニュース」発表中に頭に浮かんだことでした。歴史を振り返らずして、未来は語れませんし、進めません。先人の苦勞と努力の足跡を、私たちはもう一度謙虚に振り返り、そこから多くのことを学びとり、そして未来への飛躍のバネやヒントにしていくという姿勢が大切ではないかと思つた次第です。平成20年1月28日 飯館村長 菅野 典雄